

かほく

ワークシート

問題

- ①石川啄木の出身はどこですか。
- ②「東北おんば訳」の歌を、声に出して読んでみましょう。
- ③方言の歌からはどのような感じを受けますか。

(中学／朝の会前10～15分)

うたの 泉

不來方のお城の草さ寝っころんで／
空さ吸われだ／十五の心お

東北おんば訳

石川啄木(1886～1912年)の△不來方のお城の草に寝ころびて△空に吸はれし△十五の心△を大船渡市の「おんば」と呼ばれる女性たちが土地

言葉で訳したものです。共通語にはない濁音の豊かで柔らかい響き、「さ」という助詞の味わいが私たちの心に滲みてきます。岩手県渋民村(現盛岡市渋民

区)出身の啄木も訛っていたはず。いったいどんな声と抑揚で話していたのでしょうか。この一首によつてさまざまな想像がかき立てられます。(本田一弘)